

共同礼拝

2023年3月19日(日) 午前10時30分

午後3時00分

司式 牧師 高橋和人

前 奏

招 詞 詩 編 100編1, 2節

讃 詠 546

主の祈り

聖 書

詩 編 57編12節 (旧891)

コリントの信徒への手紙一16章5~24節
(新323)

祈 禱

使徒信条

讃 美 歌 8

説 教 「教会の交わりに生きる」

牧師 姜 徑米

祈 禱

讃 美 歌 228 (1, 2)

献 金

頌 栄 543

祝 禱

後 奏

起立が困難な時は着席のまま礼拝します。

3月の祈り

主イエスが共におられることによって、与えられている恵みと導きを見出し、日々を大切に歩むことができるように。

戦火と天災によって困難と悲しみを負っている人々に、主のみ手が伸べられ、癒しと慰めが与えられるように。

受難節を覚え、主イエスの十字架の救いの信仰理解を深め、礼拝を大切に、聖書に親しみ、祈りの時を持ち、イースターの恵みに備えることのできるように。

今日の祈り

教会のこの一年度の歩みを覚え、そこにある主の恵みを思い起こすことができるように。

世界の混乱と危機の時代にあって、信仰により世を見据え、教会の歩む道を見出すように。

戦争の終結が与えられ、平和が実現されるように。天災に苦しむ人々が力づけられるように。

体調を崩している兄弟姉妹が力づけられるように。

「教会の交わりに生きる」 姜 徑米

コリントの信徒への手紙一16:5~24

パウロは、教会が自分たちだけで狭く固まってしまふことを戒めます。教会の中で小さなグループを作ってその中に閉じこもるのがよくないのはもちろんで、一つの教会が自分たちの中だけで固まり、門を閉ざしてしまうこともよくない、教会は、広く全世界の諸教会との交わりに目を向けるべきで。

パウロは、全世界へ広がっていくキリストの教会の広さを見つめているのです。そのようなパウロの広い視野と、様々な違いを乗り越えていこうとする思いを私たちはこの聖書のみ言葉からしっかり学ば

なければなりません。

そのことを見つめていく中で、22節の言葉は私たちがドキッとさせます。そこには、「主を愛さない者は、神から見捨てられるがいい」とあります。「神から見捨てられるがいい」は、別の意味では「呪われよ」となります。

一致と交わりをあれほど大切にしているパウロが、「呪われよ」という激しい言葉を語っていることにとまどいを覚えるのです。けれども、ここに、パウロが語っている全てのことを一つにまとめる要のようなものがあるのです。

教会が礼拝している主は、私たちの罪を背負って十字架にかかって死んで下さったイエス・キリストです。その主イエス・キリストを愛し、従っていくところに、教会の一致と交わりの土台があるのです。

教会の一致は、人間どうしが妥協して探ることによって得られるものではありません。教会の交わりは、人間の親しさや好き嫌いによる交わりではありません。そのようなものによって集まるのは「党派」です。

キリストの体である教会は、主イエス・キリストの十字架と復活による救いの恵みを告げ知らせるみ言葉が語られ、その救いの印である洗礼が授けられ、そして洗礼を受けて群れに加えられた者が聖餐においてキリストの命によって養われていくところに成り立つのです。

この主イエス・キリストを愛し、従っていくという要をぼやかし、人間の思いのつながりを持ち込もうとすることに対しては、教会ははっきりと「呪われよ」と宣言するのです。

それは誰か他の人を呪うためではなく、私たち自身が、主イエス・キリストを愛し、礼拝することと、世界の諸教会へ広がっていく交わりに生きるためなのです。